

日本の仕事の仕方 The Japanese Way of Working

リー・シュウ Lee Hsu

82-371: Advanced Japanese I

1. はじめに

この作文は、どうして日本人は仕事大切な事だと思っているのかというトピックを述べたいと思う。筆者はアメリカ人で、日本人が毎日一生懸命働くのは、アメリカ人にちょっと違う。その日本人の考えが新しく、面白い考えだから、もっと知りたい。それから、将来に、日本で仕事することを考えている。だから、日本の仕事文化を研究したほうがいいと思う。そして、日本の残業状況が知りたい。最後に、ライティングアシスタントのみかみさんと話し合った後で、日本の仕事文化を少し習って、仕事文化を知りたくなる。結論は、日本の仕事の中で、日本の文化をたくさん反映すると考える。そして、卒業から引退まで、日本人はいつも仕事を思っている。大学生は就職の事を考えて、会社員になる時に、残業をする。

2. どうして日本人は仕事大切な事だと思っているのか。

2. 1. 卒業生の就職生活はどうか。

まず、日本で、大学の四年生は、仕事を探す事のほうが大学より大切だそう。大学はこの事実が分かるから、四年生に少ない授業と宿題をさせる。アメリカの大学は日本ほど、親切ではないと思う。たいてい、アメリカの四年生はたくさん難しい授業と宿題があつて、同時に仕事も探す。でも、日本語の「就職」は終身雇用の意味がある。つまり、会社で働くサラリーマンになるのは大人の通過儀礼だ。そして、他の国に比べ、日本では、一生一つの職場で働き続けるべきだと考える人が一番高い。だから、大学生から、もう仕事を大切な事だと思った。四年生は仕事を探す時に、全部の時間がかからなくてはいけないと考える。

次に、日本で、会社の申し込み方は大変だと思う。みかみさんによると、大学生は手書きのレジメを会社に送って、何度も面接をするそうだ。アメリカと違う、会社に電子レジメだけ送る。会社のサイズによって、面接の回を違う。それから、日本で、就職は同じ大学の卒業生が助けられないが、家族が会社で働いていたら、その会社で仕事をやりやすいと言われる。でも、アメリカでは、たいてい卒業生が後輩を助ける。最後に、日本の就職生活が大変だから、卒業生は就職したら、仕事がある理由は自分の能力と努力だと思うかもしれない。

2. 2. 日本人がいつも残業する理由は何か。

アメリカ人は、日本のサラリーマンを考える時に、よく疲れて、残業した人を描く。そのイメージの理由はたくさんある。まず、日本のサラリーマンはよく午前七時から、午後八時まで働く。時々、とても遅くに働くから、終電に乗らないはずだ。次に、日本の連合は今年の一月に、どのようなことが残業の原因になっていると思うかという調査をした。一番の原因は仕事を分担できるメンバーが少ない、二番の原因は残業しなければ業務を処理しきれないほど業務量が多い、三番の原因は職場のワークライフバランスに対する意識が低い。その以上は、会社で、たぶん仕事が多すぎると思う。会社は新しい雇用者を雇わないだろう。そして、日本の小学生の時から、いつも勉強したら、ワークライフバランスを習わなくて、働く時に、まだできていない。しかし、日本人が残業する理由はもう一つある。

同じ調査は、四番の原因は職場に長時間労働が評価される風潮がある。日本人は自分のイメージをよく考えている。みかみさんによると、日本では、他の人の自分に対するイメージがとても大切だそうだ。それから、日本人は働かないと人は怠惰になるとの考えが賛成する。その結果、残業しない人は働かなくて、怠惰の人と思う。例えば、早く会社から帰ったら、同僚は不快に感じて、イメージが悪くなる。残業したら、イメージはよくなって、上司も賛する。でも、アメリカ人は日本人ほど、自分のイメージは大切ではないと思う。たいてい残業しなくてもいいが、お金のためにだけ残業する。自分のイメージの事は仕事文化の中だから、日本人は仕方なしに、いつも残業する。

3. おわりに

日本人が一生懸命働く理由は、何時でも仕事について、考えている。大学の四年生は、大変な就職生活を準備して、授業は減る。そして、日本は、他の国に比べ、終身雇用の会社員が一番高い。日本人は安定の仕事が欲しいから、転職をしないと思う。だから、大学生は仕事が必要な事だと思う。それから、卒業生は自分の能力を発揮して、就職する。次に、日本の会社で、ワークライフバランスができなくて、よく仕事が多すぎるから、残業してしまう。アメリカに違う、日本の高校生はいつも勉強して、ワークライフバランスを習わないと思う。最後に、日本人は残業すれば、会社で、自分のイメージがよくなる。日本の文化で、自分のイメージが大切だ。そのために、日本人は仕事も大切な事だと思っている。

参考文献

内閣府「転職に対する考え方（各国比較）」『第8回 世界青年意識調査』2009年
電通電通総研、日本リサーチセンター編「仕事についての考え方」『世界主要国 価値観データブック』2008年

連合「どのようなことが残業の原因になっていると思うか」2015年

<http://w-kawara.jp/worklife-balance/extra-work24448/>

増田貴司（2008）『日本人特有の仕事観を捨て去っていいの？』東レ経営研究所

Mouer, R. (2009). "The Cambridge Companion to Modern Japanese Culture" 113-128